

『バイオポリマー研究の最前線—バイオと化学のクロスオーバー—』



日時: **6月29日(月) 13:00 ~ 17:00**

会場: **北海道大学 百年記念館大会議室**

プログラム

13:00-13:10 開会の辞 田口精一(北海道大学大学院工学研究科)

13:10-13:30 福居俊昭(東京工業大学生命理工学研究科)

「共重合ポリエステルの効率的微生物生産に向けて」

13:30-13:50 折田和泉(東京工業大学生命理工学研究科)

「C₁化合物を単一炭素源にした共重合体PHAの生合成」

13:50-14:10 柘植丈治(東京工業大学総合理工学研究科)

「植物油から生合成したP(3HB-co-3HA)オルガノゲル」

14:30-14:50 松本謙一郎(北海道大学大学院工学研究科)

「微生物が作る乳酸ベースポリエステルの構造と物性」

14:50-15:10 佐藤康治(北海道大学大学院工学研究科)

「One-pot ポリヒドロキシアルカン酸合成法の開発」

15:10-15:30 田島健次(北海道大学大学院工学研究科)

「ナタデココはどうやって作られているか？」

15:50-16:10 阿部英喜(理化学研究所基幹研究所)

「バイオベースポリマーの連鎖構造制御による高性能化・高機能化」

16:10-16:30 平石知裕(理化学研究所基幹研究所)

「バイオポリエステル分解酵素の吸着・分解機構」

16:30-16:50 吉川佳広(産業技術総合研究所光技術研究部門)

「走査プローブ顕微鏡を用いたキチナーゼ - キチン間の相互作用力評価」

16:50-17:00 閉会の辞 棟方正信(北海道大学大学院工学研究科)

主催: 北海道大学大学院工学研究科 生物機能高分子専攻

共催: 北大グローバルCOEプログラム(触媒が先導する物質科学イノベーション)

日本農芸化学会北海道支部/北海道農芸化学協会